

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(令和4年度)

調査表

施設名	宮崎県ひなもり台県民ふれあいの森
指定管理者	公益社団法人宮崎県森林林業協会
指定期間	令和3年4月1日～令和6年3月31日
県所管部課	環境森林部森林経営課森林管理推進室

1 施設利用状況

指標	R4	R3	R2	増減理由等
ふれあいの森利用者数(人)	74,584	66,049	73,858	新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休園がなかったこと等により利用者数等が増加した。
オートキャンプ場利用者数(人)	20,060	13,457	14,454	
主催事業参加者数(人)	1,297	800	1,022	
コメント	各利用者数及び参加者数は増加したものの、新型コロナウイルス感染症の影響等により、ふれあいの森利用者数及び主催事業参加者数は目標値(ふれあいの森:81,000人、キャンプ場16,000人、主催事業:3,700人)を下回る結果となった(事業計画書の計画値を目標値としている)。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収入	R4	R3	R2	支出	R4	R3	R2
指定管理料	29,500	29,500	29,313	人件費	30,679	26,877	26,168
利用料金収入	36,221	23,817	22,009	報償費	224	170	125
受取負担金	0	2,515	0	旅費	272	98	48
雑収入	337	141	239	需用費	11,726	13,961	10,513
				役務費	2,810	852	898
				賃借料	1,523	1,340	1,568
				保険料	346	374	390
				負担金	64	75	73
				委託料	9,188	7,022	6,379
				租税公課	3,652	2,713	2,968
				その他	1,131	1,317	1,069
				県納付金	6,694	493	813
合計(①)	66,058	55,973	51,561	合計(②)	68,309	55,292	51,012
収支差額(①-②)	-2,251	682	549				
コメント	利用料金収入は増加したものの、人件費や委託料の増加等により収支差額がマイナスとなった。今後は、業務の効率化に努め、収支差額の改善を図る必要がある。						

3 管理運営状況

※下線部分は、令和4年度に新たに取り組んだ内容

事項	実施内容
清掃	森林体育館、宿泊施設、管理車道等の清掃(随時)
保守・点検	消防設備点検(年2回)、電気設備保守点検(月1回)、浄化槽保守点検(週1回)、給水施設保守点検(随時)等
警備	園内巡回、宿直体制による警備(キャンプ場宿泊利用者がある場合)
修繕	格納庫の修繕
備品等管理	備品台帳の整備、乗用芝刈り機購入
安全対策	作業器具の技術研修、自衛消防訓練、避難訓練等
その他	芝生管理、植栽木維持(剪定)、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策(場内消毒や入場時の検温)等
サービス提供体制整備	通年開園の実施、メンバーズ割引・子育て支援割引制度、ゆったりキャンプ割引制度(冬期のアーリーチェックイン、レイトチェックアウト)、利用者満足度調査(アンケート)の実施、ひなもり台利用促進協議会の開催、苦情処理検討委員会の開催
イベント等ソフト面充実	企業訪問、イベント案内チラシの発送、新聞・雑誌掲載等による広報活動、スタッフブログ・インスタグラムによる情報発信、年越しキャンプ等自主イベントの開催、年賀状発送によるリピーターの獲得
施設設備等ハード面充実	木製遊具の改修、ガードレールの改修、燃料保管庫の改築
その他	ひなもりオートキャンプ場の5つ星認定(認定:日本オートキャンプ協会)
管理運営体制	職員の能力を育成する接遇研修や技術研修等の実施
コメント	施設の維持管理は適正に行われており、各種割引制度やひなもりオートキャンプ場5つ星認定記念イベント等、利用者拡大に向けた企画運営が行われている。

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	アンケート調査等
調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等
施設・設備の管理や職員対応等については概ね高い評価を得ているが、木製遊具について老朽化した遊具撤去、新設の要望がある。	引き続き、県と連携しながら木製遊具の撤去、新設について検討していく。令和4年度事業で一部施設の改修を実施。

5 総合評価

評価コメント	マスメディアやSNSを活用した積極的な情報発信、職員の接遇マナー研修の実施、きめ細やかな場内整備などを通じて、常にリピーターの確保やサービス向上に取り組んでおり、利用者から高い評価を得るなど良好な管理運営が行われている。新型コロナウイルス感染症対策についても「新しい生活様式」の実践を徹底し、安心して利用できる環境を整えている。
今後の課題と対応	施設利用者の増加や収支の改善に向けて、イベントの充実や業務の効率化等を図ることが必要である。